

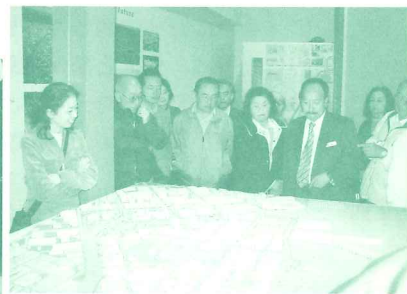
Mito City International Association

(財)水戸市国際交流協会機関紙

第18号

2004.3.

第26回国際親善姉妹都市アナハイム市親善訪問 及びアメリカ行政・文化視察団



2003年10月26日から11月2日までの8日間、加藤浩一水戸市長を団長、村田進洋市議会議員を副団長とした総勢38名の親善訪問団が、水戸市の国際親善姉妹都市であるアナハイム市をはじめ、アメリカ各都市を訪問してきました。

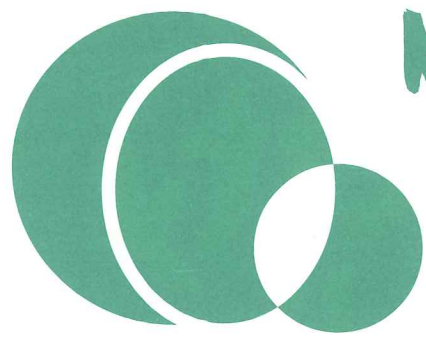
アナハイム市では、アナハイム市姉妹都市協会の皆さんの案内で消防署やコンベンションセンター、エジソンフィールドなどを視察した後、市役所を訪問。市長や市民など多くの方の歓迎を受けました。

また、今回の訪問にあわせ、水戸市からアナハイム市へひな人形一揃えが寄贈されました。市庁

舎ロビーのガラスケースに並べられた15人飾りのひな人形を目にしたアナハイム市民からは、「美しい!」と感嘆の声があがっていました。

市議会議場では、加藤市長がスピーチし、両市の友好関係をさらに深めていくことを約束。恒例の歓迎レセプションには、姉妹都市協会の皆さんやかつて水戸を訪問したアナハイム市学生親善大使など多数のアナハイム市民が出席。水戸からの訪問団と和やかなひとときを過ごしました。

(写真/左:市役所ロビーに飾られたひな人形に見入るアナハイム市民 中:シアトルのワシントン大学にて 右:サンフランシスコのミッションベイ・ビジターセンターを視察)



Mito City International Association

第26回国際親善姉妹都市アナハイム市親善訪問団

～参加者の声～

この度アナハイム親善訪問とアメリカ行政・文化視察団の団員として参加させて頂きました。アメリカ初訪問は8日間の短期間ではありましたが、旅行者としてではなく水戸市民としてアナハイムの人々と交流できた事は、私にとり何より貴重な経験でした。歓迎レセプションで同席されたシャーロットさんは、昨年私の姪が学生親善大使としてお世話になったホストファミリーの方でした。これは後日姪と話をしたのですが、あまりの偶然にびっくりし事前にわかっていたらもっと楽しい交流が出来たろうと残念でなりません。

アメリカに行って感じた事はたくさんあります。特に感心した事は、他人と腕が触れたり、ぶつかったり、人前を横切ったりした時、必ず“Excuse me.”、“Sorry.”と言葉がかけられます。日本では私も含めほとんどの人が無言で通り過ぎてしまうのではないのでしょうか。ディズニールランドでは小学生の男の子にも“Sorry.”と言われました。ボヤボヤ歩いていた私の方が悪いのに。私も「郷に入りては郷に従え」と“Excuse me.”と言うと、“That's OK.”、“No problem.”と笑顔で返事をしてくれます。何て心地良い言葉の響きでしょう。これが人と人との交流の原点ではないのでしょうか。“Thank you very much.”と言う言葉も何度も耳にしました。言葉にして相手に自分の気持ちを伝える事はほんとうに素晴らしいことです。



多数のアナハイム市民が参加した歓迎レセプションにて

ね。サンフランシスコで添乗員のフジヤさんが「多民族社会の中でうまくコミュニケーションをとって生きていくには笑顔が一番大事」と話してくれた事がよくわかりました。

シアトル、サンフランシスコとかけ足の視察でしたが、それぞれに統一された美しい市街は、それだけで充分な観光名所でした。自由の国の人々は、自由に生活しながらも人として市民として守るべき義務は果たしているのではないかと思います。

アメリカの映画、テレビ、音楽、本等を通してアメリカという国を知れば知る程アメリカの全てにあこがれ、ケネディ元大統領の大統領就任演説に胸震わせた青春時代から、今ようやくアメリカの一部分だけでも自分の眼で見、肌で感じる事が出来ました。何と遠い道程だったでしょう。まさに「百聞は一見に如かず」でした。

今回一人で参加させて頂いたにもかかわらず、何の不安もなく最後まで楽しく視察出来ましたことは、ひとえに皆様様の暖かい御心によるものと深く感謝いたします。ありがとうございました。(福島洋子)



シアトルのバイクブレースマーケット



サンフランシスコ市庁舎前

【日程表】

日次	月日(曜日)	地名	日程
1	10/26(日)	成田発、アナハイム着	空路、アメリカへ
2	10/27(月)	アナハイム	自由行動
3	10/28(火)	アナハイム	消防署、コンベンションセンター、エンジンフィールド視察 アナハイム市姉妹都市協会主催歓迎昼食会 ニューハウジングプロジェクト視察 アナハイム市役所訪問 (水戸市よりアナハイム市へひな人形寄贈、議場にて水戸市長スピーチ) アナハイム市姉妹都市協会主催歓迎レセプション
4	10/29(水)	アナハイム発 シアトル着	セイフコフィールド、航空博物館視察

日次	月日(曜日)	地名	日程
5	10/30(木)	シアトル シアトル発 サンフランシスコ着	ワシントン大学、バイクブレースマーケット、アルカイポイント、チャイナタウン視察
6	10/31(金)	サンフランシスコ	ツインピークス、シビックセンター(官庁街)、ジャパントウン、ユニオンスクエア、ミッションベイ・ビジターセンター、ピア-39(埠頭開発地区)視察
7	11/1(土)	サンフランシスコ発	空路、成田へ
8	11/2(日)	成田着	成田到着、水戸市役所へ

国際理解講座

水戸市国際交流協会では、市民の皆さんに国際交流や世界の文化について理解を深めてもらうため各種の講座を行っています。今回は平成15年度に開催した国際理解講座を紹介しします。

○「大学院生が先生！中高生のための国際理解講座」(平成15年7月～8月/全4回)

筑波大学の大学院生が講師となって、中学生・高校生を対象に毎回さまざまな国や地域の事情、文化や歴史などについて講義を行いました。今回が初めての企画ですが、参加した中高生の皆さんは真剣な眼差しで現役大学院生の話に聞き入っていました。

- *多民族国家マレーシア (筑波大学大学院 櫻田涼子)
- *中東地域の持つ多面性 (江崎智絵)
- *アメリカの個人主義 (鈴木紀子)
- *チェコの歴史と文化を旅する (杉本健二)



留学の経験をもとにした鈴木さんの話を聞く中高生の眼は真剣そのもの

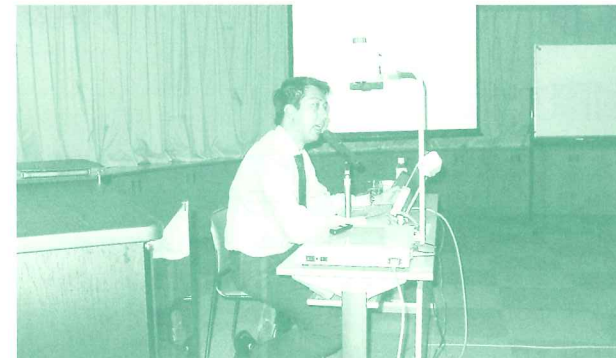
～参加者の声～

「今回の講座に参加して良かったと思いました。日本とちがった文化があり、「うらやましい」と思う事や「日本人で良かった」と思う事など様々な形で考えることができました！」(中2女)

○「やさしく学ぶ世界遺産講座」(平成15年10月～11月/全6回)

今年で5回目となる世界遺産講座は、日本ユネスコ協会連盟の世界遺産担当者や茨城大学の先生をお招きしました。

- *ユネスコ世界遺産とは (日本ユネスコ協会連盟 長岡正哲)
- *インドの歴史と世界遺産 (茨城大学人文学部助教授 山田桂子)
- *マヤ文明と世界遺産 (茨城大学人文学部助教授 青山和夫)
- *バーミヤン遺跡の現在 (日本ユネスコ協会連盟 長岡正哲)



ユネスコ世界遺産の理念、バーミヤン遺跡の現状について語る長岡氏

～参加者の声～

「毎回たいへん興味深い話を聞くことができ、よりいっそう世界遺産に興味を持つようになりました。もっと他の様々な遺産について、また講座が開かれたらぜひ参加したいのもっとやってほしいです。」(21歳女)

○「旅先で寄りたいあの美術館と楽しみ方」(平成16年2月～3月/全4回)

水戸芸術館現代美術センターの企画協力のもと4回目の開催となる今回の連続講座のテーマはオーストラリア。水戸芸術館で開催の「Living Together is Easy」展(日本とオーストラリアのアーティスト12人のグループ展)に連動して、オーストラリアの美術館と街、自然、食など新たな楽しみ方を4名のユニークな講師陣に語っていただきました。

- *オーストラリアの都市文化とアート (オーストラリア大使館 キャサリン・フニョー)
- *オーストラリアの美術館 (森美術館エディター/ライター イーデン・コーキル)
- *現代アートとオーストラリア・ワイン (アートプロデューサー 山口裕美)
- *「Living Together is Easy」展の鑑賞と解説 (水戸芸術館現代美術センター芸術監督 逢坂恵理子)



～参加者の声～

「アートや美術館の状況を通して具体的にオーストラリアについて学べただけでなく、美味しいオーストラリアワインまで飲めて、とてもおトクな講座でした！やっぱり文化を理解するのに、食文化をはずしちゃいけませんよね。(笑)」(32歳男)

このほかにも平成15年度は、「世界の文化と料理講座」、「イスラムの世界」講座などを開催しました。来年度も当協会では様々な講座を用意皆様のご参加をお待ちしています。☆受講者募集は、そのつど「広報みと」等にてお知らせします。

～国際交流のつどい～

○講演会「添乗員の泣き笑い～実りある海外旅行のために～」(平成16年2月15日)

元航空会社の客室乗務員、現在は旅行会社の添乗員として世界中を飛び回り活躍されている松井きよみさんをお招きし、海外旅行のコツ、添乗の裏話など海外旅行にまつわる様々なお話しをしていただきました。



参加者の感想より

「キラキラ輝くような松井さんがとてもすてきでした。『自分自身の中で乗り越えることができれば、あとは、誠心誠意一生懸命尽くせばわかってもらえる。』というお話しにとっても共感するとともに、感動しました。」

「添乗員としてのご苦労を一つも話すことなく、仕事としてとらえていらっしゃるプロ意識に感動いたしました。明日から私も小さなプロ意識をもって頑張れます。」

○国際交流活動パネル展
(平成16年2月14日～3月25日)

国際交流センターを拠点として国際交流活動を行っているボランティア団体などの活動状況をパネルなどで紹介しました。

参加団体

ラブニール、メサフレンドシップ、せきれいの会、日本ユニセフ協会水戸の会、水戸ユネスコ協会、日本ベトナム友好協会茨城県連合会、日本パングラデシュ文化交流会、日本ユーラシア協会茨城県支部、茨城県日中友好協会、水戸市日中友好協会、WYCCI、ラポ国際交流センター水戸連絡所、スペイン語教室



INFORMATION

◇水戸市国際交流協会

インターネットホームページ

水戸市国際交流協会のホームページを開設しています。皆さんのアクセスをお待ちしています。

(アドレス<http://www.mitoic.or.jp/>)

◇インターネット利用サービス

国際交流センター2階にコンピュータを設置しています。インターネット、コンピュータのワープロ・ソフト、表計算ソフトなど、いずれも30分100円で利用できます。

◇どようサロン

毎週土曜日の午後(1時～3時)に国際交流センター2階で開催しています。お茶を飲みながら、世界各国の皆さんとおしゃべりしてみませんか。外国からの皆さんには、3分間無料で利用できる国際電話「ふるさとでんわコーナー」もあります。予約の必要はありません。当日、直接会場へおいでください。

◇『CITY MAP MITO』及び

『水戸の生活ガイドブック』

英文版水戸市『CITY MAP MITO』や外国人が水戸での生活に役立つ情報を掲載した『水戸の生活ガイドブック』(日英併記)を差し上げています。ご希望の方は当協会までご連絡ください。

この機関紙は非木材紙(ケナフ100%)を使用しております。地球環境に優しい「大豆油インキ」を使用しております。
(Printed by KOWA PRINTING Co.LTD.)



◇相談受付

国際交流に関する相談を受け付けています。相談者は外国人、日本人を問いません。秘密は厳守します。直接国際交流センター事務室へおいでください。また、電話やEメールでも受け付けています。

機関紙へのご意見をお待ちしています。機関紙のコーナー、特集で取り上げて欲しい記事など、何でもお寄せください。

開館時間：午前9時から午後9時まで
休館日：月曜日、祝日

〒310-0024 水戸市備前町6-59
水戸市国際交流センター内
(財)水戸市国際交流協会

Tel:029-221-1800 Fax:029-221-5793
E-mail:mcia@mito.ne.jp

水戸市国際交流センター案内図
Area Map & Transportation Guide

